

1. 高大接続改革とその背景
2. 新しい学習指導要領の考え方
3. 大学入学共通テストの方向性
4. 英語成績提供システム

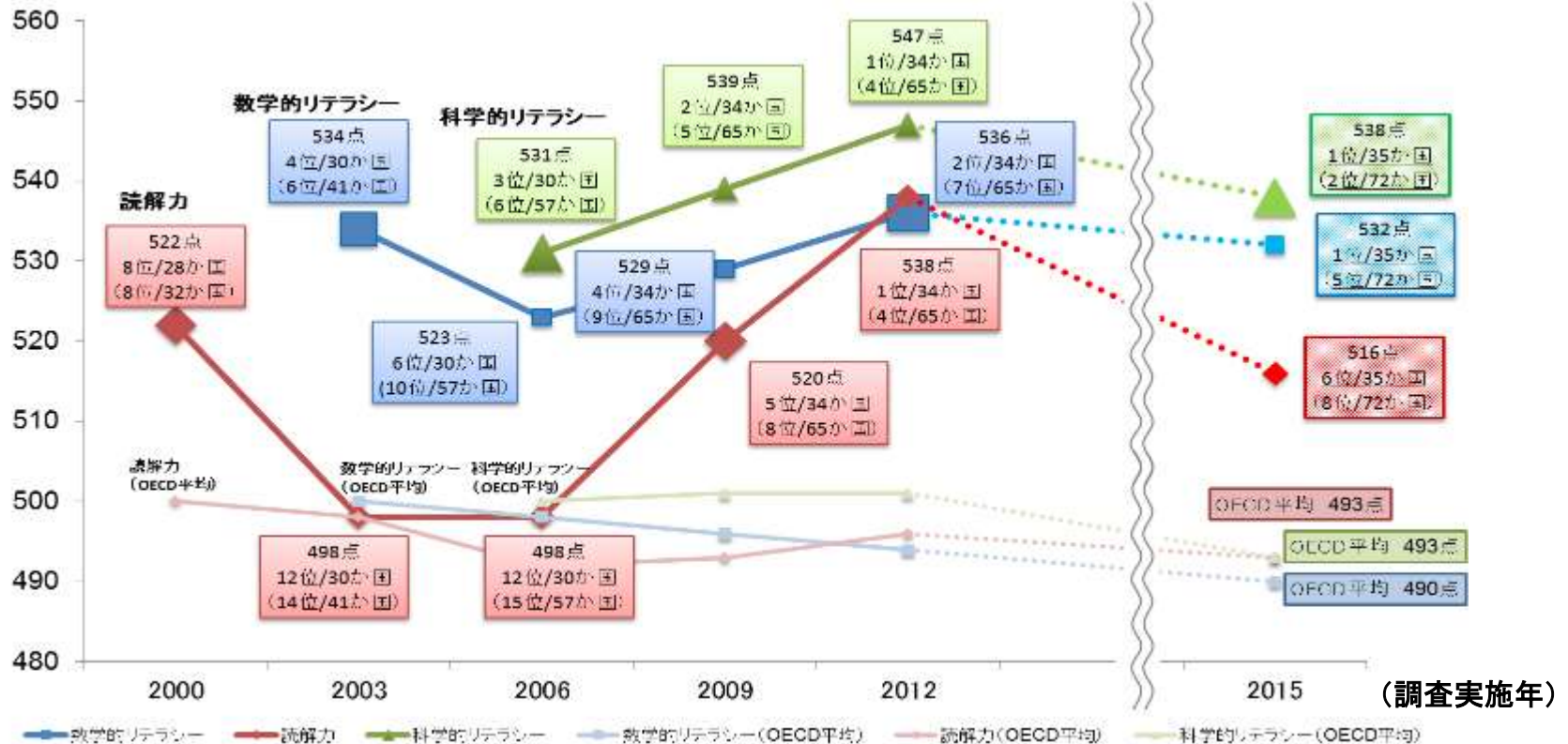
OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2015) の結果

- 科学的リテラシー、読解力、数学的リテラシーの各分野において、**日本は国際的に見ると引き続き、平均得点が高い上位グループに位置している**。一方で、**前回調査と比較して、読解力の平均得点が有意に低下している**が、これについては、コンピュータ使用型調査への移行の影響などが考えられる。
- 今回調査の中心分野である科学的リテラシーの平均得点について、**三つの科学的能力別に見ると日本は各能力ともに国際的に上位に位置している**。
- 生徒の科学に対する態度については、OECD平均と比較すると肯定的な回答をした生徒の割合が依然として低いものの、例えば**自分の将来に理科の学習が役に立つと感じている生徒の割合が2006年に比べると増加するなどの改善**が見られた。

平均得点及び順位の変遷

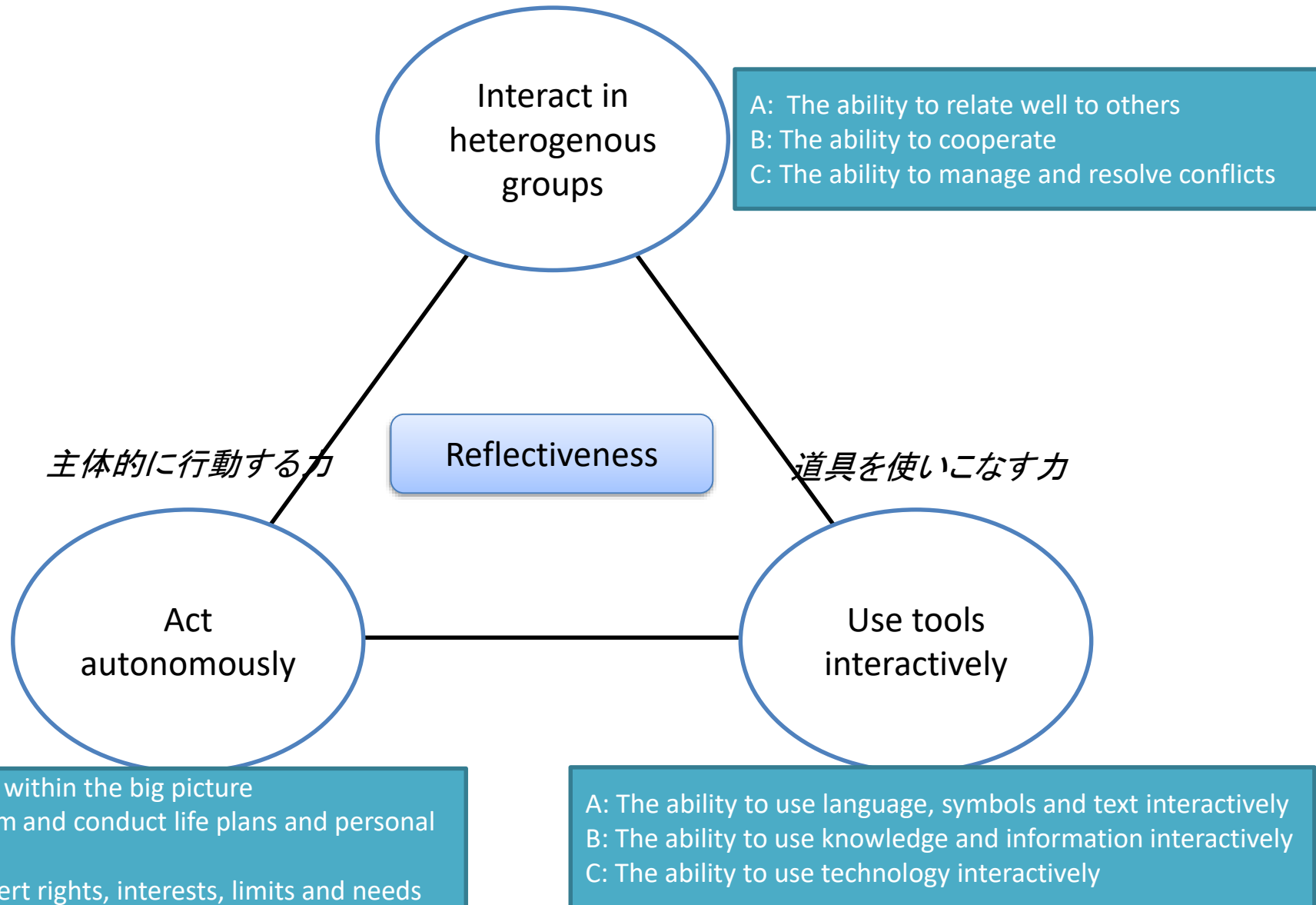
※PISA調査: OECDが15歳児(我が国では高校1年生)を対象に実施

- ・ ※各リテラシーが初めて中心分野となった回(読解力は2000年、数学的リテラシーは2003年、科学的リテラシーは2006年)のOECD平均500点を基準値として、得点を換算。数学的リテラシー、科学的リテラシーは経年比較可能な調査回以降の結果を掲載。中心分野の年はマークを大きくしている。
- ・ ※2015年調査はコンピュータ使用型調査への移行に伴い、尺度化・得点化の方法の変更等があったため、2012年と2015年の間には波線を表示している。



The framework of DeSeCo key competencies

多様な集団で活動する力



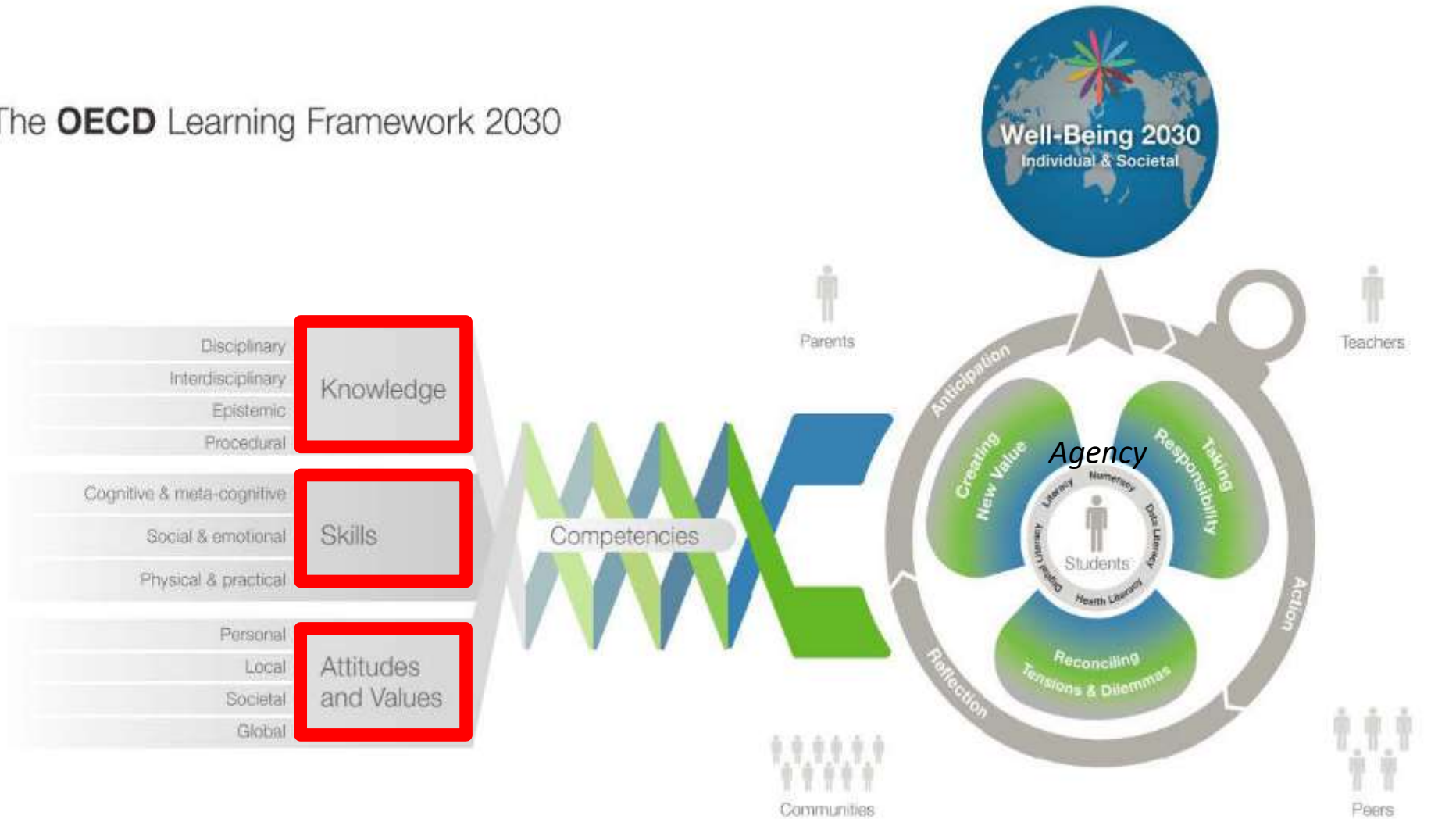
- DeSeCo キー・コンピテンシー (1997-2003)
 - PISAの理論的背景
 - 「21世紀型スキル」, 「21世紀型コンピテンシー」

- 「コンテンツからコンピテンシーへ」

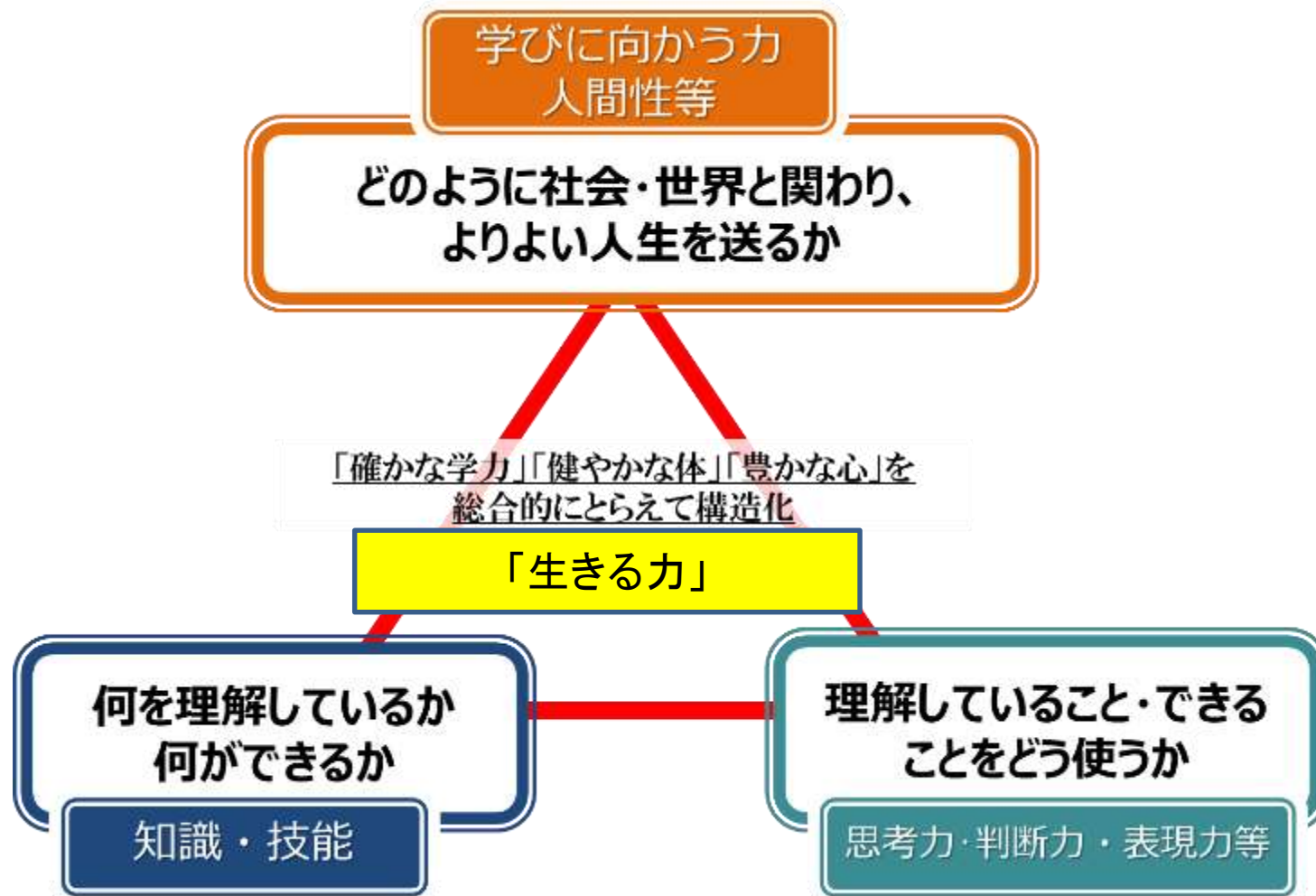
- Education 2030 (2015-present)

Figure 1. The OECD Learning Framework 2030: Work-in-progress

The **OECD** Learning Framework 2030



資質・能力の3つの柱



中教審答申（H28.12抜粋）

「知識や技能は、思考・判断・表現を通じて習得されたり、その過程で活用されるものであり、また、社会との関わりや人生の見通しの基盤ともなる。このように、資質・能力の三つの柱は相互に関係しあいながら育成されるものであり、**資質・能力の育成は知識の質や量に支えられていることに留意が必要**である。」

再掲

学習指導要領改訂における 「資質・能力の3つの柱」

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性など」の涵養

出典 学習指導要領（平成29年3月）

高大接続改革[学力の3要素]

- ① 知識・技能の確実な習得
- ② (①を基にしつつ) 思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度

出典 高大接続システム改革会議「最終報告」（平成28年3月）

大学において育む「学士力」

- 知識・理解
- 汎用的能力※（コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等）
- 創造的思考力と、それを支える統合的な学習経験
- 態度・志向性（自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等）

出典 学士課程教育の構築に向けて（答申）（平成20年12月）

※学士力答申においては「汎用的技能」とされているが、ここで整理されているコミュニケーションスキルや数量的スキル等は、個々の身体的動作や器機の取扱い等に関わる個別の技能とは異なる、統合的な力のことであり、中教審における資質・能力に関する議論の進展も踏まえ、本スライドでは「汎用的能力」としている。

コンピテンシー育成に向けたカリキュラムの考え方

Intended Curriculum
(意図されたカリキュラム)

Implemented Curriculum
(実施されたカリキュラム)

Attained Curriculum
(達成されたカリキュラム)

- カリキュラムの質及び量
- ・教科の専門的知見
- ・新しい社会的ニーズへの対応
- ・知的好奇心、チャレンジ精神
- ・焦点化、適当な分量

- 教師の資質能力
 - ・採用、育成、研修
- 教師の指導法
 - ・アクティブ・ラーニング
- 教師を取り巻く環境
 - ・定数、働き方改革
 - ・免許制度
 - ・教科書、教材、指導書
 - ・ICT環境
- 教師に期待される役割
 - ・保護者からのニーズ
 - ・子供の安全管理

- 授業を通じた評価
 - ・形成的評価
 - ・通知表、指導要録、調査書
- 標準化テストによる評価
 - ・全国学力・学習状況調査
 - ・各県学力調査
 - ・PISA、TIMSS
- 入学者選抜
 - ・中学入試、高校入試
 - ・大学入試

コンテンツ

コンピテンシー

インプット

アウトプット